

寮 だ よ り

- 高槻温心寮 -

第80号

発行 社会福祉法人
大阪福祉事業財団
高槻温心寮
高槻市塚原1-9-1
(072) 696-0678
FAX (072) 694-8092
http://t-onshinryo.jp/

生活保護法にもとづく救護施設で
さまざまな障がいや疾病をもつ200
人の方々が生活しています。



温心寮のお正月は、おせちなどの正月料理や、お正月を感じていただける取り組みを行っています。

外出が難しい方には、施設内に手づくりで神社をつくり、初詣の雰囲気を感じていただいています。

利用者さんが一生懸命拝まれる姿や、おみくじの運勢に一喜一憂されている姿を見ると私たち職員も癒されます。

また、外出ができる方には、阿久刀神社へのお参りに出かける取り組みを行いました。3日は気温が低く、寒風の中のお参りでしたが、利用者さんと一緒に手を合わせ、今年一年良い年になるように祈りました。



「大吉出るかな?」



高槻温心寮 ほっとニュース

住み続けるという選択

施設長 中村 拓也

まず、お正月に発生した能登半島地震において、被災された方々の日常が一刻も早く回復されることを祈念いたします。

さて、1月8日に、元新潟県知事の米山隆一氏が、甚大な被害を受けて維持が困難な集落に関して、復興・復旧よりも住民の集団移住を検討するよう訴えたという報道がありました。私たちには、憲法第22条で国民に認められた居住、移転・職業選択の自由と、同25条のすべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利、および同13条で定められた国民の幸福追求権・生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利があります。一方で、国の財源に限りがある中で、そもそも人口が減少し、将来にわたって地域や集落の維持が困難である地域の復興にどこまで国費を投入するのかという、今回の米山氏のように将来世代を見据えた財源論からの指摘はこれまでも度々目にするものであります。

私は社会福祉を担う者ですので、公人として、国民の権利を守るという立場からこの問題を考えます。私たちを形成する人格とは、その育ってきた背景をも包含します。自分が住んでいる土地や地域への愛着も含めて私たちの人格となります。「住みたいところに住みたい」という気持ちを尊重することは、その人そのものを尊重することです。街への移住も選択肢の一つには考えつつも、今後どうすればこうした土地や人々が持続して生活出来るのか、出来る限りの手段を考えるべきであると思えます。

今回に限らず、選択肢を提示して本人が選ぶ、そんな手続きが物事には必要だと思えます。短絡的に、人口が減少している土地に住んでいる人たちは困った人だという排除の理論に陥らないよう、注意喚起していくことが必要ではないかと思ひ、今回はこの話題について社会福祉の考えに基づいて書いてみました。これを機会に、是非皆さんも自分たちの理想とする地域づくりについて、考えてみていただけたらと思います。

医務室より



転倒に注意!

健康寿命を短くする原因のひとつに、転倒による骨折があります。特に高齢者は転倒をきっかけに寝たきりになってしまうことも少なくありません。

年を重ねると筋力が低下するため、歩行時に足のつま先が上がりにくくなり、すり足歩行になります。さらに腰が曲がり、前かがみの姿勢になると、歩行時のバランスが悪くなり、転倒につながります。転倒すると、大きな怪我だけでなく、転んだ時に手をついて腕の骨を骨折したり、しりもちをついて腰の骨を骨折したりと、思いもよらない怪我にもつながります。

皆さん、いつまでも元気でいられるように、適度な運動を行い、転倒予防に努めましょう。

看護師 斎藤典子

給食 だより

寒くなってきて、こたつでみかんを食べる方も多いと思います。ではなぜ、「こたつでみかん」が定番になったのでしょうか?

まず、みかんの旬が冬であるため、冬に甘みが増すことでより美味しくなるという理由があります。それ以外にも、①皮がむきやすく食べやすい、②ビタミンCが多く含まれていることで風邪を予防する【風邪をひきやすい冬には、免疫力を向上させ、風邪を予防するビタミンCが必要】、③クエン酸が含まれている【血行を促進することで身体を温める】、④ヘスペリジンが含まれている【みかんの皮や袋、白いすじの部分にある温め成分(血管を拡張させ、血流を良くする)】など多くの理由があります。こたつへ長く入り続けると、低温やけど、脱水症状などにもなりやすいため、適度に体が温まる程度にしましょう。



栄養士 米澤加奈

ご協力をお願いします

財団後援会

高槻温心寮をはじめとして、社会福祉法人 大阪福祉事業財団は、子ども、お年寄り、障がいを持つ方々が安心して生活が送れるように、みなさま方からのお力添えをいただいております。ひとりでも多くの方が入会してくださいませよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

大阪福祉事業財団は大阪府下に老人ホーム、保育園、障害者施設、児童養護施設、乳幼児、救護施設など24カ所の施設や病院等を運営する社会福祉法人です。

■個人団体 一口年 3,000円 ■団体会員 一口年 10,000円
賛助会員(寄付金)も、随時受付けております。

ご購入いかがですか

福祉のひろば

社会福祉の現場からの声を大切に、利用者や家族、福祉職員、研究者が、わかりやすく報告を行い、交流できる誌面が好評です。

福祉の未来を語る、社会福祉の総合誌「福祉のひろば」を、ぜひご購入下さい。



特集 福祉のひろば 2月号
民主的な経営ってなに?

- ◆1冊定価 550円(税込)
- ◆年間購読 6,600円(税込・送料は当方負担)

人事

退職			
磯部 至洋	支援員	10/31	
竹田 敏彦	支援員	12/31	
新任			
栗本 昌	支援員	11/28	
牧瀬 広美	支援員	1/1	

寄贈品

柏木 信治様 柿

お申込み・お問い合わせは高槻温心寮まで ☎ 072-696-0678

配布地域のご案内

「寮だより」は、以下の地域に配布させていただきます。
・塚原1~6丁目・大和1丁目・上土室4~6丁目



「ながーい尻尾！」

ニフレル外出



「大きいワニやな～」

合同文化事業



「気分はアロハ～」



「上手に踊れました！」



今年も大きい芋が掘れました

芋掘り



季節の行事



夏祭り開催



そ〜れっ!



ハロウィン



「魔女に見えるかしら」



クリスマス会

「どれも美味しそう！」



「プレゼント何かな？」

11月14日に男性利用者3名と女性利用者2名、職員含めて合計8名で太秦(うずまさ)映画村に行ってきました。

新しいカメラでたくさん撮影していた方、予算ギリギリまでお土産を袋いっぱい購入していた方、侍(エキストラさん)とお話をしていた方など、それぞれ思い思いに過ごされていました。楽しい時間ほど、あっという間に過ぎると感じるものですね。職員も、利用者の皆さんと楽しい時間を過ごせてよかったです。

4階フロア職員：松田 博行

太秦映画村



キャストさんと記念撮影



「美味しいお昼ご飯」

出張デパート



「買いすぎちゃったかな…」



「靴下どれにしよう」